

8-4-21 照査特別WG

1. 主な活動の記録

本WGの主たる活動である「技術委員会/品質セミナー」は平成12年度から継続的に開催している重要な協会活動であり、今年度で18回目を数える。

品質セミナーは「エラー事例を把握することで同様な・類似したエラーの発生を防ぐ」、及び「エラーに対する分析や改善策を把握することで、品質の維持・向上への具体策やヒントを知る」ことを目的に、管理・照査技術者、若手技術者などの実務者層を対象に実施した。

平成29年度のセミナーのプログラムは、従来からの道路、橋梁、土質・地質、河川、砂防・急傾斜に隔年開催3回目となる鉄道を加えた6分野とし、午前/2分野と午後/4分野に分けて実施した。

(1) 照査特別WGの構成

平成29年度も技術委員会の道路、道路構造物、河川構造物、土質・地質、ダム・発電、砂防・急傾斜、鉄道、港湾の8つの専門委員会委員によりWGを組織し、10、11月のセミナー開催に向けてWG活動を推進した。

(2) 照査特別WGの開催

WG開催：5回（4～8月）

セミナー講師全体会議：1回（9月）

(3) 品質セミナー資料の作成と更新

エラー事例は昨年から行っている各支部での収集活動を継続するとともに、本部専門委員会でも新たに河川計画分野の収集を実施することで、より多くのまた多様な事例を集めた。

この結果、昨年度と同程度の新規エラー事例

表. 平成29年度品質セミナープログラム

①趣旨説明	5分	
②セミナー概要説明	10分	
③エラーの技術的分析と改善策	(1) 土質・地質	60分
	(2) 道路/トンネル	60分
	(3) 橋梁	60分
	(4) 鉄道	30分
	(5) 河川構造物	60分
	(6) 砂防・急傾斜	60分
④全体質疑応答・講話	20分	

(205 事例) を追加収集・整理し、エラーの技術的分析と対応策を盛り込んだ平成29年度版のセミナーテキスト『成果品に関するエラー事例集』（1558 事例、全 2840 ページ、CD 配布）ならびにこれに基づくプレゼンテーション資料を作成し、事前に会員 HP への掲載も行った。

また改定された「詳細設計照査要領」の適用性を確認するとともに、各分野で独自に作成している照査チェックシートについては、エラー事例を反映して更新し、配布 CD に収録した。

(4) 品質セミナーの開催

これら準備のもと、全国9支部の協力を得て、「技術委員会/品質セミナー～エラー防止のために～」を10、11月に全国9箇所で開催した。

参加者数（全体）は、過去最多であった一昨年と同程度の参加（1308名）があり、このうち九州支部においては、地方の会場に映像配信を行うサテライト講習会を初めて実施し、支部協会参加者数の約30%を占めた。また発注者からも今後も参加機会継続や積極的な呼びかけ要望などこのテーマの関心の高さが伺え、またセミナーアンケート結果を見ると、その内容についても総じて高い評価を得ている。

2. 次年度の活動について

アンケート結果からも平成30年度も引き続き品質セミナーを開催する予定であるが、内容の企画については、平成29年度のアンケート等を踏まえて、更に満足度が向上するよう全国各支部や本部専門委員会の協力を得ながら、照査特別WG、技術委員会等で検討する。

（照査特別WG WG長 藤木 明）

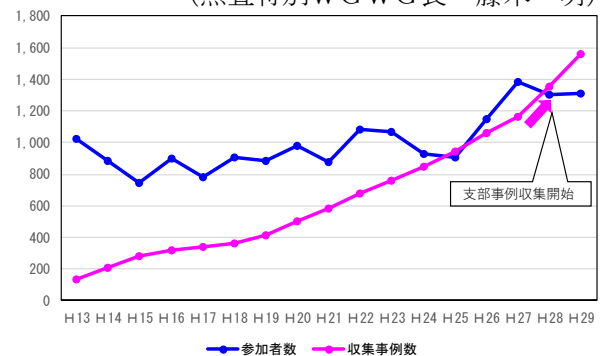


図. 参加者数及び事例収集状況の経年変化